

令和8年産水稻・大豆情報 No.1

令和8年7月23日
湖東農業農村振興事務所農産普及課
(TEL 0749-27-2228)
JA 東びわこ営農振興課
(TEL 0749-28-7851)

日照が続いています ほ場は乾きすぎていませんか！？

水稻

早めの入水や走り水をするなど適切な水管理を実施しましょう。

また、出穂期以降の干ばつは、不稔粒や胴割粒の発生原因となり、収量・品質低下を招きます。こまめにほ場を見回り、収穫間際まで間断かんがいを実施してください。落水の目安は収穫5日前ですが、土の色が白くなるまで乾きすぎるようであれば走り水を行いましょう。



乾かしすぎて葉が巻いている様子



干し過ぎている田面

大豆

中耕・培土作業が終わったら暗渠の排水栓を閉じ、地下水位と土壤水分を維持しましょう。

また、雨の降らない日が7日以上続くまたは日中に大豆の葉が裏返って白く見える場合は、水を確保できるほ場ではうね間かん水を実施しましょう。

大豆の生育が悪い場合や、開花期前で生育量が小さい場合は、雑草害を防ぐため明渠通水に留めましょう。

開花期以降の水不足は、落花や落莢、青立ちの原因になりますので乾きすぎないようにしましょう。



←水分不足で葉が裏返っているほ場
全体的に白っぽく見えます。
日中に葉の反転が50%以上見られる場合は、早急にかん水が必要です。